

作文

2014 年度 ダボ市派遣生に内定して

西中学校 2 年生 今井 優那

今回、このダボ市のホームステイに合格して、とてもうれしかったです。正直、うかるかどうか、不安でした。でも、無事受かることができ、とても夏休みが楽しみで待ちどおしいです。私は、小学 5 年生の夏休みに、カナダにホームステイに行きました。その時は、ホストファミリーや先生としか、会話ができなかったのも、今回は、現地の学校にも行くし、海外の方との交流もあるので、その時以上にたくさんの人と関わりたいし、学校では、積極的に話しかけて、たくさん友達を作りたいです。そして、その時と比べると、自分で実感できるほど、英語力がついてくると思うので、その 3 年でつけた力を発揮したいし自分の実力を試したいです。私には、幼稚園のころから、キャビンアテンダントになって、海外で働くという夢があるので、今回の経験を将来につなげたいです。そして、将来海外に住んでも、自分の英語がつうじるくらいになりたいです。私が、今回特に大切にしたいことは、楽しむことです。ホストファミリーの家には今回きりで、もう行ける機会が無いと思うし、ホストファミリーや現地の人達とも会えない確率が高いと思います。とても貴重な経験だと思うし、少ない日数だけど、最後は日本に帰りたくないと思えるほど思いっきり楽しんで、充実した生活を送り、たくさんの思い出を作りたいです。

2 週間を無駄なく過ごし、楽しいホームステイになるよう、派遣生の自覚と誇りを持って行動します。2 週間、よろしくお祈りします。

東中学校 2 年生 村上 明加

私は、派遣生に内定して最初に思った事は、私が内定したということは、だれかが落ちてしまったはずなので、その人達の方まで頑張ろうです。なぜ最初にこの気持ちになったかを考えてみると、私は小さい頃走るのが苦手で、後ろから数えて 1～3 番目など、色々なことで下位になってしまうことが多くありました。そんな時、いつも母が、「下になる人がいるこそ上になれる人がいるんだよ」と教えてくれました。だから今回の派遣では悔しい思いをした人達の方まで頑張りたいです。

派遣生に内定して、やりたいと思っていることは、大きく 2 つあります。1 つ目は、ダボの文化を知ることです。オーストラリアの文化はあまり知りませんが、日本のようにオーストラリアもきっと地域によって少しずつ文化が異なると思います。できれば他の地域の事も教えてもらいたいです。衣・食・住について日本との異なる点を見つけたいです。食に関しては、今年の夏休みの研究で「栄養満点おいしい料理」についてを、行う予定なので、ダボ市についても他の国の食としてまとめたいと思います。又、今回行けなかった人達、来年行かれる人達、姉妹都市の実感がわからない人達など、多くの人々に対してダボの文化を説明できるようにしたいです。そして姉妹都市の文化を教えてください、学ぶだけでなく日本の文化も伝えたいです。私は 2 才の頃より雅学をやっているのでも、雅楽に関する事を披露し、日本の文化を伝えられたいと思います。ダボ市の日本と異なる音楽の文化との交流ができたなら、コラボができるといいなと思っています。

また、今回の派遣を通して私は、海外に行くのは初めてで、しかも親は来ないので不安でいっぱいですが、自分を大きく成長させてくれると思います。積極的に行動して帰国した時には、両親から成長したなと思われるように頑張ります。

東中学校 2 年生 前田 もにか

私はまだ、海外には行ったことがなく、海外の人と交流したことがなかったので、オーストラリアのダボ市派遣生に内定して、国際交流ができることが、とてもうれしいです。まずは、オーストラリアに行くまでに、たくさん時間があるので、英語やオーストラリアと日本の違いなどを、いっぱい勉強して、ダボ市へ行く準備をしていくうちに、今よりも、もっともっと楽しみになるようにしていきたいです。あと、日々の暮らし方をもう少し改めたいです。

ダボ市へ行ったら、日本の動物園などにもいる、コアラやカンガルーなど、オーストラリアならではの動物がありますが、日本で暮らすのと、オーストラリアで暮らすのと、生態の異なるところを見つけたり、日本では夏だけど、オーストラリアでは冬になるので、気候のちがいや、行事、施設、マナーなども、日本と比較しながら、過ごせるようにしたいです。ホームステイもすることになるので、マナーをしっかりとる事、お手伝いをする事、他にも、オーストラリアでは英語が使われているから、たくさん英語を使って、コミュニケーションをとるようにしたいです。

そして、オーストラリアの人々と交流をすることで、一緒に楽しんだりして、オーストラリアの人々が美濃加茂市に来てみたいと思ってくれるようにしたいです。ダボ市の方も私たちも、この派遣で、もっときずなが深まったり、おたがい、姉妹都市で良かったと思える派遣にしたいです。私は、自分の視野を広げながら、ダボ市で過ごす時間をとても楽しいものにしたいです。

東中学校 3年生 座馬 苑子

私は、ずっと前からダボに行きたいと思ってました。なので、派遣生に選ばれたとき、ものすごく嬉しかったです。

私は、この研修を通して、多くの人との交流を深めていきたいです、まずは派遣生の人です。自分から積極的にたくさん話しかけていきたいです。次にダボの人との交流です。ダボに行くと、日本語では通じないことばかりだと思います。だから、今までよりも一生懸命英語を勉強してたくさん英語を話すようにしていきます。

また、研修後は、ダボの人の派遣受入をたくさんしたいし、ダボで学んだことや、日本との違いなど多くのともだちに伝えて、多くの人にダボに興味をもってもらいたいです。

そして、この経験を生かして、将来につなげていきたいです。私は将来、英語を通じて多くの人と関わる仕事に就きたいと思っています。なので、この派遣を通じて学んだこと、人との出会い、関わり大切さなど、たくさん勉強したいです。

川辺中学校 3年生 山口 結衣

派遣生に内定して私は、ダボ市でたくさんの事を学び、その学んだことを今後の生活などで生かせるようにしたいです。ダボ市に行き学んでいきたい事は2つぐらいあります。

1つ目は、環境や文化、自然などについて日本とは違うと思うところがたくさんいろんな所で出てくると思うので自分で感じていきたいと思っています。

2つ目は、英語を学んでくることです。英語は5教科の中では好きなので、ダボ市に行く事になって、とてもうれしいです。しかしすごく早く話されるとまったく聞き取れなくなってしまうので1週間ぐらいのダボ市の派遣で自分の英語力をより伸ばしたいと思っています。

この2津のことを中心に自分で学んで、力を付けていけると良いと思っています。また自分から積極的にホームステイ先のホストファミリーの方に話しかけたいと思います。

内定という事が決まって、うれしいです。しかし、内定されても生活態度などで派遣生として不適切な行動をしたりしてしまうとダボ市に行けないということを読みました。なので、学校の授業や休み時間は今まで通りにたくさん拳手・発言などをしたいと思ったし、休み時間では、ろうかは走らないや大きい声を出さないなどのルールがあるのでしっかりルールを守るように心がけたいです。また、派遣生の説明会が何回かあると思うので、その時の言葉使いや行動に気をつけていきたいと思ったし、しっかりと話が聞けるようにしたいと思いました。派遣生に内定して頂けたことに感謝して、説明会やダボ市で積極的に交流活動に参加・協力して一生懸命取り組んでいけるよう頑張りたいです。

坂祝中学校 3年生 三品 美結

私は、派遣生に内定し、「本当にダボ市に行ける」という喜びと「英語で会話がしっかりできるのだろうか」という不安でいっぱいでした。けれど、日が経つにつれ、「家族や友達と離れて異国の地でも、

自分一人でもできる」という自信をつけて成長する絶好のチャンスだと思えるようになりました。そこで、このチャンスを生かすために、学びたいことを二つ考えました。

一つ目は、積極的に会話し、英語の力を伸ばすことです。今までに学習した英語の文章は多くはありませんが、単語を駆使すれば気持ちを伝えることはできます。また、耳だけでなく心で聞けば、相手の思いをくみ取ることができます。だから、英語を通してコミュニケーション能力を磨きたいと思っています。

二つ目は、日本の文化を伝え、オーストラリアの文化を学んで文化交流をすることです。

私は、幼い頃から、習字を習ったり、折り紙を折ったりするという日本の伝統文化を体験してきました。これは、習字をすることを通して、集中する力を付けたり、自分の心を見つめる時間となるという良さがあること、たった一枚の紙からいろいろな形ができる不思議さなど、この活動から得られる日本の心を伝えたいと思います。そして、オーストラリアの代表的な動物であるカンガルー、コアラや珊瑚礁などを守る活動を積極的に行っている姿から環境を大切にすることを直接聞いてみたいと思います。

最後に、この研修を終了したときに、自分の成長がはっきりわかり、親や友達に成長した点を伝えられるようにしたいです。同時に、この派遣事業の素晴らしさを伝えられるようにしたいと思います。そして、この活動を支えて下さっている関係者の方々や、私を励まして送り出してくれた家族に感謝の気持ちをもって行動で示すこと、坂祝中学校の後輩が、この活動に興味を持って受け継いでいてくれることを期待しています。

関高校 1年生 佐光 美咲

私は派遣生に内定して驚いたと同時にすごく嬉しかったです。海外に行くことは初めてで不安が多いですが、滅多にない機会なので学べることの多い、素晴らしい研修にしたいです。そのために、3つのことに意識したいです。

1つ目は、英語を学ぶことです。私は英語は好きですが、英語で話したり、聞いたりすることは苦手です。だから、言葉を伝える手段が英語しかない環境で、自分の思いを伝え、相手の言葉に耳を傾け、会話ができるようにしたいです。慣れない環境だからこそ、周りに甘えず、できないからと決めつけず、自分の力が出せるようにしていきたいです。

2つ目は、国際交流をすることです。自分が知っている、自分から見た日本の文化、伝統、自分が住んでいる町を相手に話したいです。また、私はオーストラリアの文化や習慣自然、相手から見た日本を教えてもらいたいです。それだけでも、多くのことを学ぶことができると思います。

3つ目は”自分の目で見る”ことです。インターネットや本で調べたり、オーストラリアの方と交流することで学べることは多いと思います。けれど、「百聞は一見に如かず」ということわざがあるように、実際に体験し、自分の目で見ることで、オーストラリアの魅力や素晴らしさを感じることができると思います。以上のことを意識し、充実した研修にしたいです。

加茂高校 1年生 高野 歩実

「やったー！」しか言葉に表せないほど、私は派遣生に内定してとても嬉しかったです。小さい頃からずっと外国に興味を持っていて、高校生になったら絶対にダボ市へ行くこと決めていたので、内定の通知が届いた時には嬉しさと期待で胸がいっぱいになりました。

将来は、国際関係の仕事や青年海外協力隊、外国で生活したいと考えています。だから、今回の体験は私にとって大きなチャンスだと思います。このチャンスは無駄にしないようにするには、自分から積極的に行動し、たくさんの事に挑戦する事が大切だと思います。

日本とは違う文化や言葉、生活習慣・・・すべての事が初めての体験で不安もたくさんあります。だけど、その中でよりたくさんの事を学びたくさんの経験を積んで行きたいです。そして、私が一番楽しみにしていることはホームステイです。英語が好きで話せるようになりたいので、ネイティブの人と身近に関われることはとても楽しみです。だから、自分からたくさん話し楽しみ、みんなが楽し

い気持ちになってくれたら嬉しいです。だけど、分からないことがたくさんあると思います。

そんな時は笑顔を忘れずに、工夫してコミュニケーションしてホストファミリーと仲良くなれるようにしたいです。そして、オーストラリアについてたくさん学び日本の文化もたくさん伝えていけるようにしたいです。

このオーストラリアでの12日間を自分自身をもっともっと成長させることができ、自分にとってより意味のある体験にするという気持ちで挑みたいです。そして、将来に繋がる経験がたくさんできるように頑張ります。また、私がこのような素晴らしい体験ができるのはたくさんの人の協力があってこそなのでそのことに感謝し自分のできることを精一杯頑張ります。

加茂農林高校 1年生 日比野 綾

私は、今年度美濃加茂市のオーストラリア派遣生として合格を頂きました。私は、外国の文化や人々の生活に興味や憧れがあります。

なので、将来は外国で仕事や生活がしてみたいと考えています。しかし、私は英語があまり得意ではありません。今の状態では、この目標を叶えるには何をしたいかよく分かっていません。もちろん英語を勉強しもっと喋る事ができるようになる事は大事ですが、何か他にやるべきこと、知っておくべきことが無いかと思い、今回この派遣生に応募しました。

合格を頂いた今、オーストラリアに行ける喜びや期待が大きく、不思議と不安はありません。周りの方々にも、「綾は英語が得意じゃないのになんでそんなにポジティブなの？」と不思議がられる程です。もちろん、不安が無いといえば嘘になります。しかし私は、英語を上手に喋る事だけが外国での意思疎通の取り方とは思いません。たとえ英語が一言すら喋れないとしても、ボディランゲージや表情、その人の持つ雰囲気などで自分の思っていることや自分の人柄は伝えられると思います。最初私は英語力の低い自分が合格を受けたのが自分でも不思議でしたが、自分を客観的に見て人より明るく賑やかで、思ったことをはっきりと言える性格をしていると思うのでこの様な性格が合格を頂けた一つの要因でもあるかなと思います。ですが、言葉が出てこないと伝わらない事もあります。オーストラリアには頼れる家族は居ません。意思疎通が思うようにとれなくても自分で全て解決しなければならないので、必ず大きな壁に当たると思います。しかし、その壁を破って今までの自分よりレベルアップしてこそ、この派遣員に選ばれた意味があると思います。

このような思いや考えを踏まえた上で、今回のオーストラリア研修で自分の語学力の向上は勿論、考え方や人生観までも深められる研修にしていきたいです。

加茂高校 3年生 瀬瀬 加奈子

私がダボに行って学びたいことは2つあります。

1つ目はやはり英語です。私は去年ニュージーランドにホームステイをしたり、またダボのホストファミリーをしたり様々な異文化交流を経験しました。しかしその中で自分の拙い英語力と勉強不足を感じました。だからそれ以来自分の苦手な文法を中心に必死に学習しました。ダボではその力を試したいです。更に生きた英語にふれることで、また新しい発見をしたいと思っています。2つ目は異文化、人間観を学びたいです。ニュージーランドもオーストラリアも多民族国家で、様々な人種の人と一緒に生活しています。そして様々な宗教や文化が共存しています。日本ではまずめったに見ることができません。ニュージーランドでは週に2回ほど教会に行くのですが、そこでは聖書の一遍をみんなでどう考えるか、どう思うか意見を交わす機会があります。しかし私は特に宗教について考えたことがなく、それが普通だと思っていた自分の視野の狭さを恥じました。ダボでは進んで宗教や文化について話し合い自分の「普通」をたくさん見つけて自分を成長させる糧にしたいです。私は外国語大学に進学し、日々の講義や長期留学を経験して将来日本だけでなく、世界で活躍できるような人材になりたいと思っています。今回のホームステイでは前に言った2つのことを学び、これからの自分に好影響を与えられるよう何事にもチャレンジしたいです。

以上